『PCA 固定資産 hyper』
Ver.1.0 Rev.3.01 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

KDH191025

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。
操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

≪申告書≫

◇新様式対応

改元に伴う申告書の新様式に対応し、新元号（令和）で出力できるようにしました。

◇地方税電子申告対応

eLTAXのシステム更改（平成31年度）に対応しました。

◇別表十六（六）

種類に「対象外」が指定された均等償却、一時償却の資産は、別表十六（六）で出力しないようにしました。

※前Revまでに申告書の種類が「対象外」で登録していた均等償却、一時償却の資産は、今回のRevからは別表十六（六）では集計されなくなります。

≪ファイル≫

◇データの保守

資産の月次計算方法を一括で変更できる機能を用意しました。

≪前準備≫

◇会社基本情報の登録

償却資産税の資産コード桁数を、最大20桁まで設定・出力可能にしました。

≪台帳・一覧≫

◇有形固定資産等明細表

長期前払費用を、まとめてではなく科目ごとに出力できるようにしました。

互換性に関する変更点

◇データ領域の更新について

以下のデータ構造を拡張したため、データ領域のバージョンを「3.42」に更新しました。
・会社基本情報
・資産（償却資産税）

◇APIの変更について

以下のデータ構造を拡張したため、バージョンを更新しました。
・会社基本情報（バージョン「102」）
・資産（バージョン「103」）

◇汎用データの変更について

以下のデータ構造を拡張したため、バージョンを更新しました。
・会社基本情報（バージョン「8」）
・一般資産（バージョン「7」）
・リース資産（バージョン「7」）
・少額資産（バージョン「5」）